



発行日平成 29 年 8 月吉日
上尾の活性化を考える会

上尾市議会議員 池野 耕司
所属会派 上尾政策フォーラム
上尾市浅間台 4-17-15

TEL: 048-775-8259 FAX:048-773-6357

こうじレポート No.110

～不登校総数 28 年度は 160 人～

過去 3 年間の上尾市立小・中学校の児童生徒数及び不登校状況（年度間に 30 日以上、欠席の不登校人数）を見ると、児童生徒数が減少傾向にあります但不登校総数が増加しております。平成 26 年度 131 人に対して平成 28 年度は 160 人と 29 人増加している。不登校になる要因として①将来に対する無気力、②情緒不安定、③親子関係をめぐる家庭の問題、④友人関係のトラブル（いじめ等）が指摘されています。

不登校は低学力、高校中退や半失業・無業や「引きこもり」のリスク、子どもの貧困の連鎖にもなります。

そこで、市（子ども未来部 子ども支援課）の支援として、

①「児童扶養手当」の支給（今年度予算：704,714 千円）

父・又は母のいない家庭等に対して児童を養育・成長の為に、生活の安定と子どもの福祉の増進を図る。

②ひとり親家庭・生活困窮者等学習支援事業（今年度予算：15,916 千円）

生活保護家庭及び生活困窮家庭等の中高校生、児童扶養手当を受給しているひとり親家庭等の中学生に対して学習教室の開催や、学習相談等を行う。

過去 3 年間の上尾市立小・中学校の児童生徒数及び不登校状況

年度	小学校 児童数	不登校 数	割合 (%)	中学校 生徒数	不登校 数	割合 (%)	児童・ 生徒数	不登校 総数	割合 (%)
平成 26 年	12,138	15	0.12	6,320	116	1.84	18,458	131	0.71
平成 27 年	11,909	19	0.16	6,189	116	1.87	18,098	135	0.75
平成 28 年	11,784	23	0.20	6,025	137	2.27	17,809	160	0.90

参考：ひきこもりや不登校、ニート、高校中退、無業の若者を対象に、就労に向けてのサポートをする場所として「地域若者サポートステーションさいたま」が設置。（大宮区桜木町 1-7-1 ソニックビル B1 048-650-9898）

～上尾市内の就業者、第 3 次産業が 71.5%～

国では人口・世帯・産業・就業等の実態を明らかにする為に 5 年毎に国勢調査を実施しています。自治体等行政施策の基礎資料に資する事を目的にしています。そこで、上尾市の就業状況について見たのが下表です。

年度	就業総 数(人)	第 1 次 産業	構成比 (%)	第 2 次 産業	構成比 (%)	第 3 次 産業	構成比 (%)	分類不 能産業	構成比 (%)
平成 22 年	109,170	938	0.86	24,346	22.30	76,568	70.14	7,318	6.70
平成 27 年	109,113	877	0.80	23,989	21.99	78,036	71.52	6,211	5.69

第 1 次産業・・・農業・林業・漁業

第 2 次産業・・・建設業・製造業・鉱業、採石業、砂利採取業

第 3 次産業・・・電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業 医療・福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されるものを除く）

概要として、①5 年間で 57 人就業人口が減少、②第 1 次産業が 61 人減少、③第 2 次産業が 357 人減少、一方で、④第 3 次産業が 1,468 人増加している。産業のサービス化の進展と、働きの多様化が伺えます。それは、社会経済を含む自然界の万物は、休みなく変化し新たな環境に対応する為、働いているからである。

～9 月定例会は 8 月 30 日開会～